間接容器と定在波による「超音波制御技術」を開発

報道関係各位
2012年12月14日
超音波システム研究所

間接容器と定在波による「超音波制御技術」を開発

超音波システム研究所（所在地：神奈川県相模原市）は、
超音波（定在波）の制御技術を応用して、
間接容器を利用した、新しい超音波制御技術を開発しました。

今回開発した技術は、
超音波の定在波を利用して、
間接容器の音響特性と組み合わせることで、
超音波機器の発振周波数とは異なる、
幅広い超音波の伝搬周波数の特性を利用可能にした技術です。

４０ｋＨｚの超音波振動子を使用して、
１００－２００ｋＨｚの超音波の効果が実現できます。

なお、超音波システム研究所の「超音波機器の評価技術」により、
具体的な効果を＜数値化・グラフ化＞することで確認しています。

■参考

超音波装置（標準タイプ 超音波：１式）　６頁
http://www.green.dti.ne.jp/aabccdx/UltraSonicSystem1.pdf

超音波装置（標準タイプ 超音波：３式）　４頁
http://www.green.dti.ne.jp/aabccdx/UltraSonicSystem1.pdf

超音波装置（総合カタログ）　１５頁
http://www.green.dti.ne.jp/aabccdx/UltraSonicSystem3.pdf

これは、新しい方法および技術です、
今回の実施結果から
超音波照射の対象物の範囲が
金属、樹脂、・・から、
植物、生物、・・・といった範囲にも可能であると考えています。

なお、今回の技術をコンサルティング事業として、
展開することを計画しています。

【本件に関するお問合せ先】
超音波システム研究所
ホームページ http://ultrasonic-labo.com/
ホームページ http://www.green.dti.ne.jp/aabccdx/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com